SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：未来創造株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営計画（単年度・長期）を作成し、社内に周知、管理・徹底している。 ・毎日の朝礼時に経営理念の唱和とディスプレイ掲示で共有している。また、経営理念に基づく10の信条（クレド）で行動している。社員全員が経営理念とクレドの記載されたカードを常時身につけ、強い意識を持って実践している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規定があり、読み合わせ等を通して重要性を発信している。 ・自治体、企業相手の業務が中心となるため、随時勉強会等を実施している。 ・Pマーク等の取得（2021年1月）により、第三者の監査も受けている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・企業における競争とは価格競争だけではないことを社員全員に周知し、創意工夫をこらした提案により企業の利益最大化を目指している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者、責任者を任命している。 ・パートナーシップを結ぶ各大学と協力して社内研修や毎月2～3回の推進会議を行っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・ふるさと納税業務について「ビジネス特許」取得に向け申請準備をすすめており、知的財産保護に努めている。 ・全社員について、入社時に「誓約書」を取り交わし、知的財産・機密情報の保護・漏洩に努めている。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・プライバシーマークを取得している。 ・寄附者の個人情報保護のため業務フローマニュアルを策定、正確なオペレーション、ダブルチェック等により管理を徹底している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・行政（甲佐町）、委託先、事業者、寄附者と密にコミュニケーションを取り合い、問題発生時は迅速に対応し課題解決に向けて前向きに取り組んでいる。 ・寄附者からの声にしっかり耳を傾け、よりよい運営のため意見を反映させている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・共通の受発注管理ソフトにより、各事業者の悩み・問題点を洗い出し、解決に努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・月1回個別面談を実施し、ハラスメントを防ぐ体制づくりに励んでいる。 ・グループ全社においてハラスメント担当窓口を男性1名・女性1名設置し、差別やハラスメントを防ぐ風通しの良い体制を構築している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・心身ともに、労働上危険な点がないか相談できる体制をとっている。 ・本社事務所の床はフルフラットであり、フリーアドレスを採用し、社員全員が快適な労働環境で業務にあたる。 ・毎年全職員を対象としたストレスチェックを実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・社員・パートなどの雇用形態による社会保険など勤務条件の差はない。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底、有給休暇の一定割合を時間単位で取得可能とする体制により、適正なワークライフバランス確保に努めている。 ・土日祝日と夏季休暇、年末年始は終日事務所原則利用不可とし、また毎週水曜日はノー残業デーを推奨している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・各種研修体制の整備、必要経費の支給により外部研修への参加・資格取得を奨励している。 ・社内検定試験（TKC巡回監査士補・巡回監査士）制度を設け、その費用も会社が負担している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・定期健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている（二次検診は出勤扱い・受診料会社負担（上限1万円）、禁煙外来受診も同様）。 ・本社2階に併設するフィットネスジムの会費を一部会社負担としている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性割合が高く（75%）、性別による差別はない。 ・2020年度採用数3名中3名女性。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・出張、対面での感染リスクを軽減するため、クライアントへの訪問回数を減らしオンライン会議を頻繁に行っている。 ・本社事務所の大型モニターには3時間おきに換気を促すメッセージが流れ、定期的な換気が徹底されている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・紙でのカタログを廃止し、ポータルサイトの充実を図っている。 ・オンライン会議を活用している。 ・甲佐高校にてDXに関する授業（2020年度：年10回開催）を行っており、地域の子どもの教育に貢献している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　　事業者名：未来創造株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ゴミの分別を徹底している。 ・廃棄物が生じた場合には専門業者に委託し適切に処理している。シュレッダーにかけた資料は、再生ゴミとして処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量は、簡易計算シート（県ホームページに掲載 https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/49/71997.html）を用いて把握する。 ・PCの省エネモードを推奨している。 ・甲佐町のサテライトオフィスでは、休憩時間は消灯している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・自社の温室効果ガスの排出量は、簡易計算シート（県ホームページに掲載 https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/49/71997.html）を用いて把握する。 ・会議や打ち合わせは可能な限りオンラインで行い、CO2削減に取り組んでいる。（月2,000キロの走行距離から月1,200キロへ削減。） ・マイカップ、マイボトルの使用を推奨している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・来客時に提供するストローをプラスチックストローから紙ストローに変更した。 ・ふるさと納税返礼品は、基本的に簡易包装としている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・寄附申込はポータルサイト経由を主とし、寄附者へ郵送する証明書等は必要最低限にとどめ、両面印刷等を活用しペーパーレス化に努めている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事務所内の水回りに「節水シール」を貼り、意識付け・呼びかけをしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・寄附者へ郵送する証明書等の書式を変更し、紙の枚数を最低限にとどめている。 ・ふるさと納税返礼品は、基本的に簡易包装としている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・事務所キッチンコーナーに「食品ロス削減」を促す掲示物を貼り、全職員へ意識付けを行っている。 ・【予定】2022年3月までに訳あり商品・規格外商品もふるさと納税返礼品として取り入れる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・【予定】2022年3月までに、ふるさと納税の寄附金使用使途に「緑化活動」や「自然保護」にまつわるトピックを加える。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・来客時に提供するストローをプラスチックストローから紙ストローに変更した。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・会議や打ち合わせは可能な限りオンラインで行っている。 ・車での外出の際は極力少ない台数で出向き、CO2削減に取り組んでいる。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：未来創造株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・寄附者・事業者からの声に耳を傾け迅速に対応し課題解決に取り組んでいる。 ・ふるさと納税返礼品では食品を多く取り扱うため、アレルギー表示等には細心の注意をはかり、正確な情報掲載を徹底するよう全社員へ意識付けを行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・申込手段をオンラインに限定せず、決済手段も幅広く対応することでオンライン格差をなくしている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・ふるさと納税返礼品では、甲佐町に特化した商品を多く取り入れている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・熊本県産木材を使用した商品をふるさと納税返礼品に取り入れている。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・ふるさと納税寄附金使用使途として、地方が抱える様々な社会問題にまつわるトピックを設定している。(例)ふるさとの環境・景観保全のための事業、人々の安全安心なまちづくりのための事業、明日を担う子どもの育成のための事業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・熊本県産木材を使用した商品をふるさと納税返礼品に取り入れている。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・甲佐高校にてDXに関する授業（2020年度：年10回開催）を行っており、地域の子どもの教育に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・社員にハザードマップを周知している。 ・本社事務所はフリーアドレス制を導入し、床はフルフラットで誰でも負荷なく利用することができる。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内でSDGsに関する研修を行い、全社員への意識付けに努めている。 ・甲佐高校にてSDGsに関する授業を行っている。 ・京都大学・関西大学・拓殖大学・福岡大学の教授によるSDGsの研修を受講するなど産学連携で持続可能な目標に向けグループ全社で取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・甲佐高校の生徒と、ふるさと納税返礼品の共同開発を行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・熊本への企業誘致により、若者の都市流出防止に貢献している。 ・社内の平均年齢33.5歳と若く、Uターン就職希望者も積極的に採用している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。